



大久保あきら後援会事務所

〒869-1108 菊池郡菊陽町光の森6丁目19-5(有限会社大輝不動産内) TEL096-233-1237

6月定例議会が開催されました

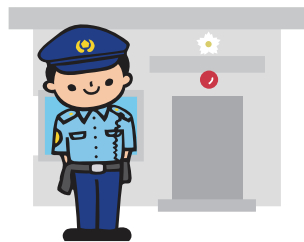
6月定例議会のポイント

●行政報告

町長より行政報告がありました。復旧・復興計画の策定、地域防災計画の見直しに関する事、罹災証明書の交付状況、災害義援金・見舞金の申請・支払状況、「被災者生活再建支援金」支給について、応急仮設住宅やみなし仮設住宅入居者への支援等、熊本地震に関する事が主なものでした。

その他、光の森交番の新設が、平成29年度熊本県の当初予算で予算化され、光の森交番の新設が決定した事。公立保育所民営化計画について、今年1月に「菊陽町公立保育所民営化計画」を策定、現在7園ある公立保育所のうち5園を民営化予定であるということなど。

光の森交番の新設は、私も過去に一般質問で交番の誘致を優先課題の高い問題として取り組むよう町へ要望(平成27年6月定例議会



一般質問・大久保あきら通信No.1に掲載)しており、決定して良かったと思っています。

公立保育所の民営化計画については、現在ある7園の公立保育所のうち5園を民営化ということです。民営化は進めていくべきと思っており、一昨年の12月定例議会で審議された“もみじ園”の民営化に私は賛成しました。しかし5園を同時に民営化するというのであれば、そこに様々な弊害がないのかなど、今後の進捗状況をしっかりとみていきたいと考えています。

●常任委員の選任

改選より2年が経過し、常任委員会の委員が変わりました。各常任委員会の人事が議長より発表され、私はこれまで文教厚生常任委員会でしたが、6月議会より総務常任委員会の委員となりました。

●補正予算

平成29年度一般会計補正予算。歳入歳出それぞれ1億924万6千円を追加。歳入歳出予算の総額はそれぞれ146億9,924万6千円。歳出の主なものとして、被災宅地復旧支援事業補助金として6,000万円、耐震診断・改修助成金960万円、災害復旧費1,059万8千円等。

●熊本地震被災者の住宅再建に関する請願

被災者生活再建支援法の支援金の限度額300万円の増額を求め、という内容。

この請願は、文教厚生常任委員会に付託され、賛成少数により不採択でした。委員会での不採択の決定に対して、賛成か反対かの討議及び表決が行われ、結果は不採択となりました。

私も不採択へ賛成でした。理由は、請願の提出者に利害関係が発生する可能性があることや、法制度が見直されることで、一部損壊などの規定も見直しとなる可能性があり、多大な財源が必要となるため、むやみに支援の拡充を求めるものではないと考えたためです。

●副町長人事

6月末で井手義隆副町長が任期満了となりましたが、6月定例議会で副町長人事の提案はありませんでしたので、7月から副町長が不在の状態となっています。

○5月17日・18日 研修へ行ってきました

地方議員研究会主催による「質問力アップ 集中4講座」を受講してきました。この研修は、菊陽町議会による派遣等ではなく、今後私が一般質問を行う際に参考になればと思い、個人的に申込みをし、参加したものです。

講師は、医学博士とMBAを持ち、平成27年まで寝屋川市議会議員を5期20年努められた宮本正一氏。

そもそも「質問とは」といった基本的な話から、何をどのように質問するのかということだけでなく、一般質問を行うにあたってどのようなことを自分のテーマとしていくのか。また、一度質問しただけで終わることなく、その後のチェックの仕方など様々なことを学ばせていただきました。また、普段からの議員としての行動などについても講義があり、大変意義深いものでした。今後の一般質問や議員活動に活かしていけるようにしたいと思います。



○町民と議会の語る会

6月27日午後7時～中央公民館にて「町民と議会の語る会」が行われました。

今までの語る会では、町民の方々からの質問に対するの応答は議長、副議長や各常任委員会の委員長が中心となっていました。今回は各議員それぞれの考え方を述べるよう形式を変えて行われました。

参加された町民の方々には20名。参加者は少なかったですが、議会と執行部の関わり方、議員定数、防災無線が聞こえにくいことへの代替案としての個別受信機等の導入等、様々なご質問やご意見がありました。

政務活動費について、制度そのものの見直しを考えてはどうかというご意見があり、複数名の議員が自身の考え方を述べ、その中で私も自分の考えを述べる機会がありました。

私の政務活動費に関する意見として、政務活動費は議員報酬に含まれているもので、別途に支給される必要はないと考えていることを述べさせていただきました。



○政務活動費に関する私の考え

昨年11月発行の久保あきら通信No.5でも政務活動費について書かせていただいていたのですが、前述の「質問力アップ 集中4講座」でも政務活動費に関する講師の考え方についてお話しがあり共感したところがありました。また、町民と議会の語る会においても、政務活動費に関する意見交換は多くの時間を使つての議論となったことでもありましたので、政務活動費に関してここで考えを表明したいと思います。

政務活動費を導入したことにより、以前に比べて議会の常任委員会等でまとまって視察研修へ行く予算が削られています。その分、各議員が政務活動費を使用して視察研修等を行うという考え方です。各議員が自分のテーマをもって研修等に行くなど勉強することも大切かと思いますが、しかし一つのテーマを複数人で共有して議論することも大切なことだ

と思いますので、その予算が減らされて政務活動費に充てられるのはどうかと思っています。各人で持っている課題やテーマについては議員報酬で活動するべきかと思っています。

また、政務活動費の使用状況は下記のとおりです。
●平成28年度菊陽町議会の政務活動費使用状況
議員18名1名あたり年間交付額240,000円、総交付額は4,320,000円(実際は1名交付申請をしておらず4,080,000円)

平成28年度の支出額合計は661,037円であり、使用率は15.3%。18人中12名(交付申請なし1名含む)は、使用0円であり、2/3の議員は全く使用していない。

現状では、政務活動費という制度を一度見直す必要があるのではないかと考えています。

○大津菊陽水道企業団議会の視察研修報告

7月25日～27日、大津菊陽水道企業団議会の視察研修へ行ってきました。

一日目、大阪府堺市の株式会社栗本鐵鋼所 堺工場。

この工場は、大津菊陽水道企業団（以下、当企業団）でも水道耐震化で導入しているダクタイル鑄鉄管を製造しています。材料の溶解から製品の検査まで、生産ラインと製品検査システムの自動化がされた最新の工場でした。製造工程を一通り見せていただきましたが、銑鉄等を1550℃で溶解する工場内部は（とくに夏場のこの季節は）大変暑く、過酷な現場でした。

ダクタイル鑄鉄管の特徴は、強靱性・水密性・耐食性そして免震構造を持った耐震継手による耐震性であり、当企業団管内において一部配管されていますが、熊本地震での破損漏水はありませんでした。今後も当企業団では耐震管への更新を進めていく予定とのことでした。



二日目、滋賀県大津市の大津市企業局 柳が崎浄水場。

平成21年に中核市となった滋賀県大津市。大津市企業局の給水人口は340,576人。給水戸数149,209戸の大規模事業体。水源は琵琶湖を主な水源とし6ヶ所の浄水場で濾過して配水しており、柳が崎浄水場は大津市最大級の浄水場です。

大津市は現在、人口減少にあり今後も減少の見込み。それに伴い水需要も減少。現状の施設をそのまま維持管理しようとする、施設の持続が難しくなっていく。今後、水道施設の規模の適正化を図るために、経営感覚を持った様々な施策が必要であり、現在の6ヶ所ある浄水場を3ヶ所にするなど、様々な合理化を計画されている。大津市企業局では「新水道ビジョン（重点実行計画・中長期経営計画）」を掲げると同時に、今年4月より水道料金を19%UPの料金改定をされたとのことでした。

計画の詳細は膨大な量でした。持続可能な施設運営を命題として、緻密な計画のもとに取組まれており、今後の当企業団の運営の参考になることが多くありました。

尚、大津市企業局は熊本地震の際、4月26日から

5月10日までの15日間、職員8名、工事店組合19名、合計27名で熊本市の水道復旧工事の支援をいただいています。



三日目、滋賀県栗東市の積水化学工業株式会社 滋賀栗東工場。

この工場では、当企業団でも導入している水道用耐震型高性能ポリエチレン管の製造工場。地震によって生じる地盤の変状に柔軟に追従する耐震管材であるポリエチレン管。鑄鉄管と併用することで、コスト縮減にもなり注目される管材となっています。

特徴は、地震に強く・錆がない・施工が容易であり、当企業団管内において敷設されている27,471mにおいて、熊本地震での破損漏水はありませんでした。

また、同工場にて下水道の更生管（現状ある下水道管の補強等を行う管）の製造工程も視察させていただき、水道だけでなく今後の下水道の維持管理についても大変参考になりました。



2泊3日で、企業局と工場2ヶ所の視察研修をさせていただきました。今回の視察研修は昨年の熊本地震を踏まえての行程となっており、今後の防災施策について検討するうえで有意義な視察・研修でした。今回学ばせていただいたことを、今後の水道企業団議会や菊陽町議会での防災・減災に関する提案等へ活かしていきたいと思えます。

活動記録

- 5月9日 広報委員会
- 5月15日 広報委員会
- 5月17・18日 質問力アップ集中4講座in東京へ参加
- 5月19日 議員連絡会 私立保育園との意見交換会
- 5月21日 武蔵ヶ丘中学校 体育大会へ出席①
- 5月28日 武蔵ヶ丘小学校 運動会へ出席
- 6月6日～6月15日 6月定例議会
- 6月6日 議員連絡会
- 6月9日 全員協議会
- 6月19日 区長会と議会との意見交換会
- 6月26日 広報委員会
- 6月27日 町民と議会の語る会
- 7月13日 広報委員会
- 7月14日 議員連絡会
井手義隆副町長の発言に対する調査特別委員会
- 7月21日 広報委員会
菊陽町商工振興協同組合による食品安全衛生講習会へ出席②
- 7月24日 夢街光の森会 防犯パトロールへ参加③
- 7月25日～27日 大津菊陽水道企業団議会 視察研修



菊陽町商工振興協同組合による食品安全衛生講習会へ

7月21日菊陽町商工振興協同組合による食品安全衛生講習会へ出席させていただきました。私は普段、食品を商品として扱った経験がないため、とても新鮮なお話が聞けました。

食に携わる方々の、安心・安全な食を皆様へ届けたいという祈りのような気持ちが伝わってくる講習会であり、今後もこのような機会があれば是非参加させていただきたいと思っております。

菊陽町議会議場の改修工事がはじまりました

熊本地震で菊陽町役場庁舎の議場にも被害があり、6月定例議会終了後より改修工事がはじまりました。どのようになるのか気になっています。9月の定例議会は改修後の議場で開催されます。

是非議会の傍聴にお越し下さい。



改修中の様子

大久保あきら プロフィール

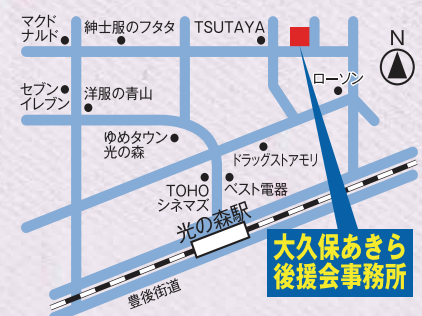
- 昭和50年(1975年)7月2日生まれ
- 平成6年 熊本工業高等学校 情報システム科卒業
- 平成27年4月菊陽町議会議員に初当選
- 総務常任委員 広報委員 大津菊陽水道企業団議員
- 有限会社大輝不動産 代表取締役(平成16年設立)
- 家族/妻・長女・長男・母の5人暮らし。光の森1丁目に居住。

大久保あきらの活動の一つとして、「大久保あきら通信」を発行させていただいています。皆様へ議会のことを少しでも発信できるように頑張っており、取り組んでまいりたいと思っております。どうぞ、宜しくお願い申し上げます。皆様のご意見やご要望等もいただければ幸いです。

〒869-1108 菊池郡菊陽町光の森6丁目19-5(有限会社大輝不動産内)

☎ 096-233-1237

■ご意見・ご要望等は後援会事務所、電話またはこちらまで→E-mail/ohkubo@daiki-f.co.jp



○お気軽にお立ち寄りください。